佐世保市立　相浦西小学校　学校だより

校訓 強正美

平成２９年８月　９日
【　第　９号　】
文責：校長　金子圭一

【夏休みも折り返し地点です】

・４２日間の夏休みも残り２２日間となりました。「まだ２２日もある」という感想が多いかもしれません。夏休みに入ってから大きな事故や怪我の報告はありませんが、**道路で遊んだり、川で遊んだりしている**という連絡があり、安全について再度、個別の指導をすることもありました。どうぞ、夏休み前半をふり返り、９月１日（金）の登校日までに様々な**「壁」**をつくらないよう指導をお願いします。「壁」とは学校に足を向かわせない要因で、生活のリズムが狂って「眠い」、運動不足で体力が落ちて「きつい」や課題が残っていて「どうにもならない」という状況です。９月１日に機嫌よく登校できるようまだ自分でコントロールできない場合は各家庭での指導や支援をお願いいたします。

【平和集会を行いました】

・長崎県では８月９日を「県民祈りの日」と定め、原爆犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和への誓いを新たにするため、原爆投下時刻の午前１１時２分に全県民が１分間の黙祷を捧げることとしています（県ＨＰより）。本校でも担当職員や人権・平和委員会の子どもたちを中心に平和集会を体育館で行いました。ＮＨＫの全国世論調査の結果、原爆投下日を７割が正しく答えられなかったという報道がありました。長崎県民としてまず「学び」、犠牲になった方々の冥福を「祈り」、平和を「誓う」ことをねらいとして集会を行いました。

【第４２回交通安全子ども自転車長崎県大会で活躍！】

・７月２８日（金）長崎市で開催された標記大会で活躍しました。参加したのは本校から６名（６年眞浦り湖、近藤由奈、鳥瀬羽音、５年田中優有、近藤正英、富野拓人）です。約１ヶ月、この大会に向け学科及び実技テスト（安全走行と技能走行）に向けた練習を重ねてきました。相浦警察署及び交通安全協会の皆様にもお世話になりました。

学校経営の基本方針
「みんなが楽しい学校」の創造
「あったか言葉・行動の実践によって主体的にみんなが楽しい学校をつくろうとする子どもの育成」
子どもたちの行動目標「あいさつ」「へんじ」「くつならべ」
※地域ぐるみで取り組む行動目標「あいさつ」（学校支援会議より）



【前期前半ー毎日歩いて登校した子どもたち（自己申告による）】



・長期休業に入る区切りで昨年度から毎日歩いて登校した人は立って下さいと呼びかけて写真を撮っています。あくまでも自己申告です。昨年度の同時期の写真と比べると立っている子が明らかに多くなっています。歩くことで体も心も強く、豊かになることは皆さんご存じの通りです。雨の日は雨の中を、風の日は風の中を歩くたくましさは大切だと思います。登校時間帯（７時４０分～８時１５分）における自家用車利用については子どもたちの安全のために、やむを得ない事情がある場合に限っています。指定された場所以外での駐車、停車、下車を禁止としていますので再度ご確認下さい。（学校だより４月６日号の裏にお願いを掲載しています。学校ＨＰでご覧になれます。）

【特別支援教育についてーその②】

・通常の学級には、学習上または行動上の困難があり、教育上特別の支援を必要とする児童等が６．５％程度の割合で在籍していることが明らかになっています（文部科学省調査）。これらの児童等は、障害から生じる困難さが表面化しにくいこともあり、その原因が本人の怠けや努力不足、家族のしつけ不足によるものなどと誤解されることがあります。つまずきや困難な状況を早期に気づき、正しい理解をすることが大切です。（文部科学省：教育支援体制整備ガイドラインより抜粋）